

ここがいい! こながい



小長井図書室だより

2024年 5月号 No.285

諫早市立小長井図書室
〒859-0165
諫早市小長井町小川原浦825
(小長井文化ホール内)
0957-34-2972
開室時間
火~金 午前10時~午後6時
土・日 午前 9時~午後5時



郷土の詩人 木下和郎展

小長井出身の詩人 木下和郎の詩3篇(「昭和十九年 秋」
「石切丁場」「六地藏さん」)の紹介と、詩集を展示しています。
この機会に郷土詩人の作品に親しんでみてはいかがでしょうか。

テラス席を

開設しています



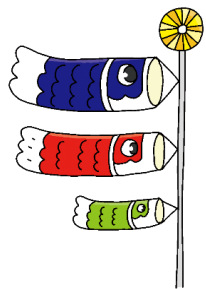
爽やかな風を感じながらゆったり
とした時間をお過ごしください。

5月末まで。
飲み物持ち込み可。



5月 カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



おはなし会

休館日

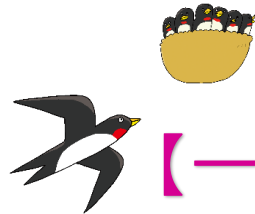
谷の歌

岩石に山茶花 石楠花の木がしげり
 流れには榊の花があった
 田畑はそこから里へ
 ちぎれちぎれにつづいている
 崖ぶちのたれさがるがねび
 山羊のつるやちがやの藪かげに
 螢色にちらばる山ぐみ
 尾根のてっぺんのすすきのほむらの
 夕日
 子供たちのなわとびの輪を
 出たり入ったりする
 ひとときわたかいたさざめきが
 拡がったと思うと
 谷間の夕暮を
 木の根のよう重い足うらで
 父たちが丸太橋をわたってくる
 ここでは風は木々には鳴らなかつた
 川の面をさざなみと吹く風もなかつた
 風は谷をひびく山の音となり
 地をけけずり石をくだき葦をそよがせ
 河口にちかく
 ほそいゆうげの煙を吹きためる
 ふるさとの夜がくる

定本木下和郎全詩集』より



この4月から、小長井文化ホール2階にある、明るく落ち着いた雰囲気の小長井図書室で勤務させていただくことになりました。寺田幸子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。



【一般書】



あたらしく入った本

【児童書】



小説

『サロメの断頭台』 夕木春央：著 講談社

油絵画家の井口の絵を見て、オランダの富豪ロデウィックは、「そっくりな作品をアメリカで見た」と気が付いた。未発表の絵を、誰がどうして剽窃したのか？ 盗作犯を探すうちに、井口の周りで連続殺人が発生して…。



生活

『知れば、ず〜っと役立つ!暮らしの小ワザ100』 雨宮秀彦：著 文響社

ラップの切り口が見つからない、ホールケーキをキレイに切れない…。生活を快適にする小ワザ、料理をストレスフリーにする小ワザを紹介。一部の小ワザにはやり方を解説する動画のQRコード付き。



心理

『わたしが「わたし」を助けに行こう』 橋本翔太：著 サンマーク出版

お金が貯められない、相手に思ったことが言えない、部屋が片付けられない…。「なぜうまくいかないのか」の理由を心の深いところまで探り、問題の本当の姿を見つけ、解決する方法を紹介する。

※内容紹介は新刊全点案内より



えほん

『あるくバスていくん』

深見春夫：著 文芸社

同じ所に立っていることに飽きてしまったバスていくんは、歩いてよそへ行ってみることに。田舎道、山のてっぺん、駅のホーム、海の中。バスていくんがやってくると、どんなことが起こる？ 想像力をかき立てるユーモラス絵本。



よみもの

『駄菓子屋をまもれ!つくも神大作戦』

あんずゆき：作 たごもりのりこ：絵 文溪堂

えんぴつよりもシャープペンシル。そろばんよりも電卓…。「古い」と使われなくなってしまった物のつくも神たちを元気にし、つぶされそうな駄菓子屋も救おうと、えんぴつにつくも神ぴっちゃんと、なかよし3人組が大活躍!



そのほか

『恐竜ハンター』

土屋健：設定協力 川崎悟司：[ほか]イラスト KADOKAWA

知恵と勇気と最新科学で、最強恐竜に立ち向かえ! 白亜紀の恐竜や古生物の生態、特徴を知って、捕まえ方を考えてみよう。無事に捕まえることができるかな? ターゲットの恐竜に近い仲間も紹介。